

【タイトル】あの世の窓が開いたら

【概要】本企画は人と人との「絆」、人と人と言いましても、あの世の人とこの世の人の「絆」をテーマにその絆が混沌とした今を力強く生きる勇気を与えてくれる内容です。この内容は現在進行形の実話です。

崖っぷち零細企業の女社長（私）が母の介護を通して突如現れたあの世の人達との交流で孤独や不安から解放され、明るく前向きに変化していく様子を母との会話形式でお伝えします。この一冊が今を生きる人々の癒しになる事を願います。

【想定する読者ターゲット】

- ① 20～50代の男女
- ② 崖っぷちな人
- ③ 孤独を感じている人

【構成案】

プロローグ

- 第一章 あの世の窓が開いた！
- 第二章 イタコ化した母
- 第三章 おばあちゃんお願い
- 第四章 窓からアメリカ人現る
- 第五章 私の守護霊
- 第六章 絆の奇跡

あの世の窓が開いたら

プロローグ

2024年12月中旬、積み重なる請求書の山を見て私は途方に暮れていた。
隣りの部屋には要介護の母が寝ている。

「はあ～ まいったなあ…」

私は従業員が10人にも満たない零細企業の女社長、そして一家の大黒柱です。
祖父の代から本屋業を営む夫の「もう仕事辞めた」の一言で一家の大黒柱に昇進したものの、時はパンデミック、沈静化したと思ったら物価高に悩まされ、人手不足も相まって会社はボロボロの倒産予備軍と化してる状況。そこへ追い打ちをかける様に高齢の母の骨折で介護が突然加わり、まさに人生のどん底、盆と正月とクリスマスと一緒にやって来てしまった感じ。「チキショウ。」心の叫び。「神様も仏様も居ないんだ。」

第一章 あの世界の窓が開いた！

「ゆうちゃん見て、天井に四角い小さい穴が開いてる！早く見て！！」大きな母の声に驚き、慌てて母に近づくと母は天井を指差している。「ホラ見て、天井に四角い穴が空いてる、あ！穴が大きくなった！四角い窓？ あ！あ！あ！あっちの方まで開いちゃった、窓大きい！」「あんた見えないの？ア！おばあちゃん？おばあちゃん！」母が嗚咽している。あーとうとう来てしまった。これがお迎え現象というもののね。それにしても私もおばあちゃんに会いたい。「お母さん、おばあちゃん何処にいる？おばあちゃん久しぶり！どこどこ？お願い教えてー！」

第二章 イタコ化した母

それからというもの夜な夜な祖母が現れて、その度に呼び出される日々が数日続きお迎え現象にそろそろ飽きてきた矢先の出来事だった。デイサービスから先に戻っていた母が私が会社から帰宅するなり「咳」と一言言い放ったのだ。

「えー！何で知ってるの?!」「だっておばあちゃんが今日は電車の中で咳が大変だった、感染らなきゃいいけど心配だと言ってるの」私は一瞬固まった。怖い、見られている。母の言う通り、帰宅途中の電車の中で私の前の女性がずっと咳込んでいた。イン

フルエンザが大流行している事を知っていたのにマスクをしていなかった私は、彼女から離れようと遠くの席に移動をしたが、気が付くと、またその女性が前に立っている。

会社が大変な時に寝込んではいられない。

この日以来、母はイタコ化し、祖母のメッセンジャーとなった。

第三章 おばあちゃんお願い

八割方あちらの世界を信用し始めた私は閃いた。

そうだ、もしかしてあちらの世界にお願いしたら会社が上手いこと行くかもしれない。

「ねえ、お母さん、今日おばあちゃんが来たらすぐ私の事呼んでよね！」

夜の9時を回った頃、「ゆうちゃん、窓開いた、おばあちゃん来たよー！」と母の声。「おばあちゃん、ゆうちゃんだよー、見える？おばあちゃんお願いが有るの、お金のことなんだけど何とかならないかなあー？」私は天井に向かって叫んだ。

「お母さん、早くおばあちゃんに聞いて、何て言ってる？」

母が何やらしかめっ面をして「うん、分かった、あー、そうなのー。」と返事をしている。了解したという事なのか？おばあちゃんだったら助けてくれるに違いない。

期待したのもつかの間、

「こっちはお金はいらないのよ、要らないから分からない、それは何とかそっちでして、だって。」

仕方がない。しかし、女社長はここで引き下がる訳にはいかない。

「おばあちゃん、おばあちゃん近くに大黒様居ない？居たら大黒様に伝えてくれる？私困ってるから宝くじが当たるとかいろいろ方法が有ると思うのねー。」

第4章 窓からアメリカ人現る

この日もデイサービスから先に帰宅していた母は、私の帰宅を待っていた。

玄関のドアを開けるなり、「ゆうちゃん、おじいちゃんの死因が分かったのよ、オハイオ州の人が来てお礼を言って帰っていったの！」オハイオ州!? またもや私は固まった。

以上、今現在進行中の事実に基づく本となります。

この後、次から次へとあの世の人達が登場し、笑いと涙の感動をお伝えします。